

山口県生協連

ニュース vol.231

発行：山口県生活協同組合連合会
〒753-0083 山口市中後河原 210
TEL: 083-923-5614 FAX: 083-928-5416
E-mail: yken.ccu@smile.ocn.ne.jp
<http://yamaguchi-kenren-coop.jp/>

2020年1月15日発行



謹賀新年

山口県生活協同組合連合会は1949年（昭和24年）に19生協が参加して設立、昨年、創立70周年を迎えました。本年も皆さまのご指導・ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



創設期の志、苦節の時代のご労苦と種まき、

更に持続可能な未来へ 会長理事 有吉 政博

創設期の先人たちの志に思いをはせて

山口県生活協同組合連合会が全国で3番目に誕生した70年前は、1945（昭和20）年の終戦直後、県内も各市が空爆に遭い軍需施設だけでなく、公共施設、産業基盤、住宅など、街は壊滅的な状況。外地からの引き上げもあり、住む場も、食糧確保もおぼつかなく、まさに極度の混乱した状況にあったと聞きます。

それは、復興への歩みが始まった時期でもあります。日本国憲法が1946（昭21）年公布、翌47年施行され、さらに翌48年には消費生活協同組合法が制定されました。法律については、2012年の国際協同組合同年に山口県実行委員会で、下関在住の直木賞作家 古川薫先生（故人）に「志士の風雪 品川弥二郎の生涯」を執筆頂きました。松下村塾に学んだ品川弥二郎が、新しい世の中づくりに働き、明治新政府の高官としてヨーロッパ派遣で協同組合と出会う。帰国後、協同組合を日本に移植すべく、法律制定に努力した。～ その流れを小説の中で生きかえらせて頂きましたが、そのようにして制定された戦前の法律 産業組合法は、農協も漁協も生協も一緒でした。それを1948年、先人たちの運動の成果もあり、単独の「消費生活協同組合法」として制定されたものです。

全国的に町内会単位で生協が作られたのは、生活物資が欠乏しそれに対する自衛策としての運動を、法制定が応援する形になったのかとも思われます。さらにその翌49年、山口県生協連合会設立には、経済混乱期の物資調達のための生協設立だけでなく、主権在民の平和憲法のもと、戦後民主主義の定着に向けた、先人たちの強い意志を感じ取ることができます。

苦節の70年間、先人たちのご苦勞、流された汗、種まきに思いをはせて

県生協連の国鉄労組小郡での創立総会には19生協が参加。この年発行された協同組合新聞で名称を見ると、宇部市、小月、美祢郡、長府、厚狭、阿知須、安岡、川棚、岩国市などの地名を冠したものと、宇部興産、配炭公団、国鉄小郡、藤山炭鉱などの職域生協があります。現存しているのは山口県学校生協のみです。その後1953年東洋ソーダ設立のように、帝人岩国、宇

部チッソなど沢山の職域生協が作られます。そして産炭地宇部や美祢には炭鉱生協が栄えました。帝人は地域生協への転換を目指しましたが、その東部生協も立ち行かず、残念なことに沢山作られた職域生協も東ソーが現存する以外は休止になっていきました。

1957年共済生協、1963年山口中央生協の誕生は、今日の生協連の基盤づくりにつながりますが、途中、信販生協、住宅生協、医療生協（周南）の発足と廃止、県生協連も共同仕入れ事業の開始と中止を経験するなど、決して順調ではなく苦節、苦闘の歴史と申せます。

現在会員13生協の設立は、学校、山口県共済、コープやまぐち、岩国市の5生協が昭和。それ以外は宇部協立病院の医療生協への改組も含めれば、4つの大学生協、県民共済、グリーンコープ、福祉生協等8生協は平成の設立です。

それだけ厳しい歴史を積み重ねてきたわけです。力と知恵を持ち寄って時代に合った生協の運動事業を展開しようとされたこと、それでもかなわず閉鎖等も避けられなかったことに思いをはせ、先人の流された汗、ご尽力に感謝したい、まかれた種は着実に開花させたいと思います。

70周年到達点と未来への思い

そうした歴史の上で、地域生協の組合員数が22.6万世帯これは県内世帯数比で37%、共済生協の組合員数が48.8万人こちらは1軒で数名組合員の加入があることから人口135.8万人比で36%。職域や大学、あるいは医療や福祉の分野は、その対象に対しては極めて高い加入率になります。地域生協や共済生協の分野では、おおよそ三分の一の県民世帯の方々が生協組合員というのが現状到達点だと思います。その組織を、これからどう発展させていくことができるのか、県民生活にお役立ちできる組織事業にしていけるのでしょうか。

時代は急変しています。今後について見通しを語れるほど、先々を見通すことはできませんが、それでも確実に予測できることもあります。それは、人口急減社会です。地方の活力がなくなっている構造も簡単には変わらないでしょう。

成長の中で未来を語るのではなく、協同組合は協同組合として、自助、共助の組織としての真価の発揮、持続的な成長のためになすべきことをすることこそが大切なように思います。まさに、国連の提唱するSDGsだと思われれます。

微力ですが生協は、先人たちの知恵や行動のつみかさね、あるいは神戸や東北の震災直後の混乱の中で、秩序正しく分かち合った姿勢のような、話し合い、たすけあい、支えあう組織を作りつづける、そういう運動が、これからの時代には一層大切なのではなからうかと思うわけがあります。

県内の生協は、微力ではありますが、「一生懸命に、それぞれの分野での、協力・協同を進め、県民みなさんの暮らしへの役立ち」に取り組んでまいります。

地域や、職場、大学などで、一人ひとりの願いと、できることを持ち寄り、そうしたお互いの知恵と力をあわせることで、より心豊かで、より生き生きとした暮らしが創造されることを目指してまいります。

住民が元気になることで、地域活力の創造につないでいきたいと思います。

70周年に当たり、そうした決意の一端を申し述べ、これまでご支援、ご協力いただきましたみなさまに心からお礼申し上げますとともに、引き続き、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



山口県生協連創立70周年記念行事を行いました。

11月7日、創立70周年記念行事を山口市湯田温泉のホテルかめ福にて開催しました。

記念式典に先立って、記念講演会を開催し、教育評論家としてご活躍の尾木ママこと尾木直樹氏に「子どもも大人も居心地の良い学校・家庭・地域社会を目指して～尾木ママの”大切な子育てのお話し“～」という演題で講演していただきました。来賓・生協関係・一般の方など470名の参加があり、1時間の講演でしたが、笑声で会場は盛り上がり、あっという間の時間でした。



続いて、70周年記念式典を開催しました。

「武林正治 山口県環境生活部 部次長」、「藤生道陽 県議会副議長」、「渡辺純忠 山口市長」、「金子光夫 山口県農業協同組合中央会会長」、「中繁尊範 山口県労働者福祉協議会会長」、「本田英一 日本生活協同組合連合会会長」6名の御来賓をはじめ、友誼団体、日生協・会員生協の役職員など、72名のご臨席を賜りました。

初めに、有吉会長は主催者としてあいさつをおこない、創設期に、民主主義を実践してこうと生協づくりをしてきた先人達の志と受け止め、引き継いでいき、これからの生協活動を発展させていきたい、と述べました。



御来賓の方々からご祝辞をいただき、生協運動の発展のために功績のあった役職員に

県知事表彰と会長表彰をおこないました。受賞者を代表して、コープやまぐちの高木相談役が謝辞を述べ、助け合い・共助の精神を忘れる事無く、今日の受賞を励みに一生懸命に生きていきたいと挨拶されました。

70周年に合わせて作成したDVDを一部紹介し、最後に、県生協連の吉光副会長が、生活者に寄り添い身近な生協として13生協が県生協連を中心に、今後も努力していきます、と閉会の挨拶をしました。

記念式典の後にレセプションがあり、集まって下さった皆様、和やかに交流をされていました。



武林正治様



藤生道陽様



渡辺純忠様



本田英一様



金子光夫様



中繁尊範様による乾杯

山口県知事表彰者

高木 直哉様	生活協同組合コープやまぐち
若崎 智子様	生活協同組合コープやまぐち
藤村 武司様	福祉生活協同組合さんコープ
中嶋 秀行様	山口県共済生活協同組合
有吉 洋子様	山口県共済生活協同組合

相談役 (福祉生協さんコープ理事長)
監事
専務理事
事業推進部 部長
事業推進部 事業支援課 課長

山口県生協連会長表彰者

國本 裕之様	東ソー生活協同組合
浅田 晴男様	山口県共済生活協同組合
中野 和志様	福祉生活協同組合さんコープ
永原 久道様	生活協同組合コープやまぐち
藤本 浩司様	生活協同組合コープやまぐち
安部 隆幸様	生活協同組合コープやまぐち
重安 亨太様	生活協同組合コープやまぐち

常任理事 総務課長
事業推進部 次長
事務局長
生活事業部 部長
ここといずみ店 店長
店舗商品部 チーフマネジャー
組合員活動グループ チーフマネジャー



県知事表彰のみなさん



会長表彰のみなさん

第41回福祉メーデー山口県集会で基調報告

11月6日(水)、山口県労働者福祉協議会は労働者福祉強化月間の主要行事として第41回福祉メーデー山口県集会を開催しました。メインスローガンは「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!」。県生協連からの基調報告は山口県生協連 荒瀬専務理事が、山口県ユニセフ協会の活動と消費者ネットの夜間無料法律相談などを紹介し、それぞれ賛助会員の募集やユニセフへの参加を呼びかけました。



山口県生協連 2019 年度第 1 回役職員研修会報告

2019 年 9 月 19 日、生活協同組合コープやまぐち第 2 会議室にて 2019 年度第 1 回役職員研修会を開催しました。参加人数：60 名 開催時間：13：00～14：00

今回は講師に山口大学経済学部教授の鍋山祥子氏をお招きし、

「高齢化する地域での暮らしはどう変わるのか？～新しい生協の役割を模索する～」という題で講演していただきました。

はじめに県生協連の荒瀬専務理事から、山口県の高齢化と少子化の現状を説明し、いろんな生協がいろんな取り組みを行っているが、山口のことを周知されている鍋山先生の研究内容をお聞きし、生協の事業や運動に活かして頂きたいとあいさつがありました。

急速に高齢化する社会にうかうかしてはいけません。超高齢社会を生き抜くために現役世代はどう働くのか、企業はどういうサービスができるのかということのポイントをお話ししていただきました。



鍋山祥子氏

山口県は人口減少で働ける人が絶対的に不足し、これからは仕事と介護の両立も多くなることから、職場では、男性にも女性にも、多様な働き方に対応できる働きやすい職場を作っていくことが重要です。ワークライフバランスを様々な形で保持していくことで働く人を増やし、社会を存続させていくことが私たちの役目です。

家族の枠を外して「地域」で暮らしていくことの必要性を言われました。そこで見えてくる地域のニーズに誰が応えられるかという点、「家族」、「国・地方自治体」、「市場」、「非営利セクター」の 4 つで考えてみると（社会福祉ミックス論に基づいて）、「国・地方自治体」は公平性が求められる、「市場」は競争と利益追求が主になる、一方、「非営利セクター」は先駆的なサービスをやってみることができる。おもしろいサービスや目の前で困っている人へのサービスをやってみて、上手くいけば社会に広がっていく。先ず、生協という特性に共感してくれる人にいろんなサービスを失敗しても良いのでトライしてほしい。そして成功事例を出してもらいたい、応援しています、と述べられました。



<参加者の感想>

「これからの高齢社会をどう生きるのか？今までの家族や地域の概念は通用しないこと、生協の関わり、仕事のやりかたを考える良いきっかけになり大変役にたちました。生協独自のサービスを考え実践し地域に貢献できたら良いと思いました。」



「数字で見ると日本社会の今後は深刻。やっぱり先を見据えて考え行動することが大切なのだと思います。子育ても介護も家族という枠を外すことで少しやりやすくなるのだなと感じました。」

「この現状をどう変えていくのかを常に考え行動していくことが地域貢献、地域繁栄そして生協の価値向上につながると思った。」

継承～次世代につなぐ平和への思い～

山口県ピースアクション実行委員会（構成団体：山口県生活協同組合連合会、生活協同組合コープやまぐち 協力団体：山口県原爆被害者団体協議会、（一財）山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑）は、7月25日（木）、13：00～15：00 山口県立図書館で、「継承～次世代につなぐ平和への思い～」と題してやまぐちピースフォーラム 2019 を開催しました。参加者は300名

「やまぐちピースフォーラム」は山口県内の全市町の首長が核兵器のない平和な未来を願い、平和首長会議に加盟されたことをきっかけに 2010 年から取り組み始めました。自治体・被爆者・市民が一緒になって戦争・被爆体験の継承や核兵器廃絶のために何ができるかを考え、運動をすすめてきました。今年は 2016 年以来 3 年ぶりの開催となりました。

オープニングは、山口市の「ままとおん」さんに平和の歌「あしたへ」をトーンチャイムで演奏していただきました。

第1部は**県内で感じる・伝える「命の大切さ」**。広島、長崎に近い山口県には多くの被爆者がおられ、戦跡も多くあります。話しを聞いたり、戦跡を訪れた活動や被爆者のお話しを聞いて“わたしにできること”を考えました。ゆだ苑で被爆証言を聞いた小学生、被爆証言の聞き取りに参加した大学生、kid's ピースサポーターの活動に関わってきた高校生、それぞれ感じたことなどを発表され、被団協の方からは若い世代につたえたいこと、組合員からは地元の戦跡を調べてマップを作ったことを発表されました。



オープニング



第2部は**山口県版平和首長会議**。県内4自治体（山口市、柳井市、田布施町、平生町）の首長にご参加いただき、第1部の発表を聞いての感想、今後の継承活動・核兵器廃絶の運動の進め方について、また、山口県版平和首長会議の発展についての提言を述べていただきました。



平和首長会議



平和の木にメッセージを貼りました

会場ロビーではコープやまぐちの組合員

さんたちの平和活動報告を展示しました。また来場者のみなさんに、ハート型の折り紙に「あなたにとっての平和とは」というお題でメッセージを書いてもらい、平和の木に貼って完成させました。

第16回親睦ボウリング大会を開催しました

2019年12月8日（日曜日）13:30～16:00 「ボウリングの森」にて、山口県生協連主催・第16回役員親睦ボウリング大会を開催しました。

毎年恒例の大会で、会員生協間の交流と親睦を目的に開催しています。会員生協のうち10生協の役員と子どもさんを含むご家族と生協連事務局の52名が参加しました。

初めに、生協連の吉光副会長が開会あいさつをおこない、ゲームを開始し、3人1チームとなり1人3ゲームずつ投げました。

あちこちで歓声が上がり、大人も子供も心と体をリフレッシュし、楽しい時間となりました。ゲームの後、表彰式を行いました。団体の部、個人の部を発表し、発表の度に歓声と拍手が起っていました。

最後に生協連の荒瀬専務が、会員生協間での連携や連帯をさらに強めていくことを願っています！とあいさつし、今年度のボウリング大会を終了しました。

主な表彰は以下の通りです。

団体	優勝	共済生協 A チーム (山口県共済生協)
	準優勝	チーム K (医療生協健文会)
	3位	コープやまぐち B (コープやまぐち)
個人	ハイゲーム賞	寺川さん (山口大学生協) 有吉さん (山口県共済生協)



会員生協トピックス



山口大学生協 山口大学吉田キャンパス福利厚生施設 FAVO がオープン

2019年10月1日にオープンした「山口大学吉田キャンパス福利厚生施設 FAVO」は「誰にとってもお気に入りになるように・・・」という想いを込めて「favorite」から「FAVO」と名付けられました。「だれにとってもお気に入りになるように・・・」とは、この施設の「ダイバーシティキャンパスを象徴する建物」という趣旨にも繋がります。キャンパスのちょうど中心に位置し、2階建ての建物になっています。1階には「Bakery」、「Box Lunch」、「One Plate Restaurant」の3つのコーナーを備えたカフェテリアと、室内にミニストアもある多目的ルーム、2階には暮らしから学びまでのサポートカウンターを兼ね備えた「Bookstore」と「Workshop room」と、小さいながらも複合施設となっ



た施設です。

います。また、この施設内でさまざまな交流が生まれるよう、いろいろなところにテラス席を設けたり、コミュニティボードなども設置しています。



入れたてコーヒーなどカフェメニューはーキッチン中央で



フロアはすっきりとした印象



FAVO 全景



2F は書籍など

福祉生活協同組合さんコープ

創立 20 周年記念講演・式典・レセプションを開催

11月12日山口市湯田ホテルかめ福において、福祉生活協同組合さんコープ創立20周年の記念講演・記念式典・記念レセプションが、来賓・関係者を始め多数参加のもと執り行われました。記念講演は介護落語が開催され、笑いの中にも介護や家族を考えていただく場になりました。また記念式典・レセプションでは、これまでの歩みを振り返ると同時に、新たに制定されたロゴマークのもと、これからの更なる飛躍が誓い合われました。

